

取組事例

(所定外労働削減)・年休取得促進・(仕事と家庭の両立)・多様な正社員
(朝型の働き方)・(テレワーク)



企業名：山形パナソニック株式会社	所在地：山形市平清水 1-1-75
社員数：302名	業種：卸売業



1 取組の目的

当社では、社員一人ひとりの能力を充分発揮できるよう、仕事と家庭の調和を図り、社員がやりがいを感じながら働くことができる魅力ある企業を目指しています。

2 取組の概要

- (1) フレックスタイム制度の導入
育児や子育てなど、家庭と仕事のバランスを取りながら、柔軟な働き方ができるようにフレックスタイム制度を導入しました。
- (2) 所定外労働時間の削減
「ノー残業デー」を設け、所定外労働時間を削減し、社員が時間を有効に活用できるよう取り組んでいます。
- (3) 働き方改革を目指したテレワークの推進
テレワークを推進し、自立的な時間管理とワークライフバランスの実現に取り組んでいます。

3 取組みの効果と現状

- (1) 2015年にフレックスタイム制度を導入。家庭と仕事のバランスを取りながら、フレックスタイム制度の利用が定着してきました。
2019年度 フレックス制度利用社員数 月平均 約232.3名
- (2) 「社員^{まる}っとゆう活デー」と題し、毎週水曜日と金曜日をノー残業デーとすることで、各々の業務の効率化や定時退社の意識を高め、所定外労働時間を削減し、夕方の時間を活用できるようにしました。
平均所定外労働時間 2018年度 18.37時間
2019年度 18.08時間
- (3) 外勤社員にノートパソコンを貸与し、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方を行っています。
2013年制度導入時 ノートパソコン130台貸与

4 今後の取組：

- (1) 『イクメン社員』の増加を目指し、男性社員の育児休業等の取得、子育て参加の促進に取り組めます。
- (2) 社員が効率良く、意欲的に働けるために、テレワークの拡充を目指します。